

むつ市(旧むつ市)



1 斗南藩墳墓の地

むつ市最花地区にあり、斗南藩士追悼の碑が建立されています。斗南ヶ丘唯一生き残りの鳥影家や、わずかに残っている会津藩士の墓碑が静かに佇んでいます。



2 斗南藩史跡地(斗南ヶ丘)



斗南藩が市街地を設置し、領地開拓の拠点にした場所。藩名をとって「斗南ヶ丘」と名付けられ、井戸や土堀の跡が残っています。また、秩父宮雅仁親王と勢津子妃(旧斗南藩主松平容大の姪)が昭和11年10月に当地を訪れた際の記念碑も建てられています。

3 常念寺

創建は慶長元年(1596)に開かれたのが始まりとされます。本尊である木造阿彌陀如来坐像(重要文化財)は、平安時代末期に造られ貞享3年(1686)に京都の清浄華院より移されたものと伝えられます。



4 田名部神社



創建について、元和2(1616)年 社殿記録等が火災のため焼失し不明ですが、康永4年(興国2年、一三四一)の鰐口と年代不詳の古鏡が残されています。

毎年8月に行われる例大祭(田名部まつり)は、田名部の山車行事として県の無形文化財に指定されています。北前船によって伝えられた京都祇園祭の流れを汲むといわれ、お囃子と共に豪華絢爛な山車が市内を練り歩きます。

南部藩政時代の延宝9年(1681)の記録では、田名部神社は旧来「示現太郎明神」と称して祭礼は藩主が神職に命じて祭儀を執行していたといわれています。菅江真澄が田名部を訪れた際に書いた『牧の朝露』によれば、寛政5年(1793)にはすでに現在の運行形態に近い状態で行われており、江戸時代末期から代わることなく、むつ下北の最大行事として継承されている。



5 円通寺

円通寺は、1522年(大永2年)、南部氏の援助により曹洞宗の僧聚覚によって創建され、1659年(万治2年)に中興されています。戊辰戦争で新政府軍に敗れた会津藩が、五戸に転封となり斗南藩(3万石)となったが、1871年(明



治4年)に藩庁がこの寺に移されている。松平要保、容大が起居を共にしており、容大公愛玩の布袋像などが保存されています。境内には戊辰戦争の三十三回忌に建立された、奮戦まなしく亡くなった会津藩士を弔う招魂之碑があります。

6 徳玄寺



徳玄寺は、文禄三年(1594)、加賀の僧が五戸石澤に庵を結び、寛永二年(1625)、田名部に移したとい創建は古い。

徳玄寺は円通寺に斗南藩の藩庁が置かれた際、藩主松平容大公の食事や遊びの際に使用された場所であり、同時に重臣の会議場でもあり、様々な施策についての論議が重ねられた場所でもあったとされている。



7 代官山公園



前進である田名部館は、南部氏によって当地に配置された赤星五郎によって築かれたとされ、「蛭崎藏人の乱」後は新田氏が城主となったとされています。江戸時代には田名部通34ヶ村を統治した南部藩の田名部代官所が置かれていました。現在は代官山公園として整備され、市民の憩いの場所になっています。

8 旧大湊ホテル



大正時代初期に建設された、極めてモダンなゼツェーション様式と和風の折衷様式が特徴的な建築物。平成20年、近代化産業遺産に認定されました。大正10年「大湊ホテル」として竣工し、主に海軍上級士官のクラブ、要人用のホテルとして利用されていました。下北半島に近代文明をもたらし、青森県に近代化の促進を促した文化的・歴史的価値の高い貴重な存在、そして、所有する大湊興業株式会社のシンボルとして保存されています。

9 呑香稲成神社

斗南藩出身で元会津藩上級武士の五男で、後の陸軍大将になった柴五郎が明治3年、12歳で下北に移封された際、兄とともに仮住まいした所。また、下北の文芸史を振り返る上で貴重な歴史資料として、俳諧額(市指定文化財)も残されています。

10 斗南藩上陸の地記念碑



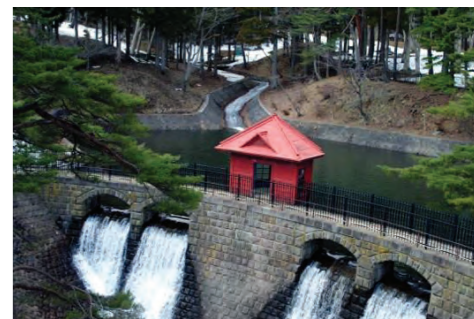
明治3年、新潟から海路をたどって藩士達が上陸した地のひとつです。石碑は、会津鶴ヶ城の石垣に使用されている慶山石を用い、会津若松市を望む方角に設置されています。碑文の揮毫は会津松平家第13代当主松平保定氏によるものです。斗南藩移住の経路を伝えるため、平成2年に記念碑が建立されました。

11 常楽寺の円空仏(如来立像)

円空仏に立像の如来像は少なく、かつ作風も優れている。後年の円空仏を予感させるような大胆な螺髪や衣壁の表現は充実した表現を見せている。表面が黒く光ることもあって量感を感じさせる。明治時代以前から神宮寺と呼ばれた本寺に伝来したもののだが、文献記録等は一切なく、尊名も釈迦如来かと推測するのみである。



12 旧大湊水源地水道施設



沈澄池堰堤(重力アーチ式石造堰堤)を含む、明治期に造られた水道施設。東北地方で最初に建設された近代水道施設で、歴史的価値と建設技術が非常に高いと評価され、国の重要文化財に指定されています。海軍が整備した施設は、後に住民の生活に役立ち、水道施設としての役割を終えた現在は、公園のシンボルになっています。

13 旧大湊要港部会議所(北洋館)



海上自衛隊大湊地方隊総監部内にある石造りの洋館「北洋館」は、大正5年(1916年)に海軍士官の社交場として建てられたもので、現在は旧海軍・自衛隊の貴重な資料約1000点を展示しています。

14 むつ市文化財収蔵庫

むつ市文化財収蔵庫には、これまで収集、寄贈を受けた、考古資料、むかしの道具(民具)、鳥の剥製等を保管しています。



15 恐山菩提寺



比叡山、高野山とともに日本三大霊場に数えられる恐山は、貞観4年(862)に慈覚大師によって開山され、天台宗の修験道場として栄えました。風車がカラカラとまわり荒々しい岩場の間から硫黄の臭いが立ちこめる様子は、地獄や浄土に見立てられています。また下北半島で円空が彫刻したと思われる2体の円空仏を所有しています。夏の恐山大祭、秋詣りの他、シーズンを通して参拝者が訪れます。